三日午前二時本県知事より糧米五千石保留の指令に接した(以下略)

眞に國難である

犧牲的精神を發揮せよ

片山中頸城郡長の談

東京方面に於ける大慘禍は只驚くの外なく一報は一報毎に災害の程度が甚大であつて單に天災地變といふ程度でなく實に國難である。邦土を擧げて暗愁の雲に蔽はれ國民なべて悲嘆にくれて居るが中頸城郡長片山三男三氏は愁眉を寄せ長嘆息して其の對策につき左の如く語つた

東京並びに關東方面に於ける今回の大災害は實に由々しき國災であると感ぜられる殊に宮城も幾多の災害をうけさせられたようであり金枝玉葉の方々にも災害に遭はせられた御方があるようで只啻恐懼の外はありません近く赤倉に御滯在遊ばさるゝ久邇宮御一家―良子女王殿下の御心中を拜察せば何とも申上ぐる言葉がない。唯災害の程度が幾分でも少ない事を希つて居るのであるが今回の事は眞に後想以上のようで茫然目失して居るような次第である

補給糧食交渉

三日午前二時本縣知事より糧米五千石保留の指令に接したので同八時より役所に於て各主任會議を開き縣の指令案を基礎として更に應急の方法を講じ應員十名急遽出動し郡内四十餘名の大地主について直接懇請交渉せしめた

大地主の犧牲的精神

處が季將に端境期に迫つて居るので道がの大地主も所藏米が甚だ少量であつたにも拘らず各大地主の方々が事情を聽取するや快然として應諾されたもの頻々多かつた。内にも山田辰治氏の如きは代金はどうでもよい直ちに百石を提供するし同調査して二百石保留すると快諾され又宮崎悌治氏も所有米三百八十石を提供することを快諾された上此の國難に際しては價格の如きは論ずる必要がないから何程でもよいと言はれた。其他保坂潤治氏の三百石を始め各大地主も略々之れに類して居た。自分は郡長として又個人としても此大地主の犧牲的精神には實に感激した。我が國民の中堅が斯の如く堅實な精神と犧牲的精神を有して居らるゝ以上は思想の惡化といふような事は少しも怖るゝに足らないと信じて居るのである

國難に際し郡青年會並びに在鄕軍人聯合會に對する希望

郡の青年會としては今日迄上越オリンピック大會並びに縣青年大會に選手を送る此の二つの問題の爲めに他の一切を捨てゝ選手の養成のみに努めて居た狀態であるが今回の國難的大慘害に對して郡青年團員並びに在鄕軍人分會員としてはどこ迄も社會奉仕的態度を以て此國難に處する上に最善の努力を拂ふようにして欲しい、それに就いては各町村青年會及び在鄕軍人分會に於ては近く糧食の運搬等の事があつたなら進んで其仕に服し運搬の敏速を圖るようにして貰ひたいものである、尚又東京方面にありては非常に勞力が不足して居るから或ひは各府縣より宮城並びに明治神宮等の御修繕に對し勞力の提供を希望されるような事がないとも限らない故左樣な場合に於ては出來得る限り進んで勞役に服することのできるように極め會員の申合せをして置いて欲しい。尚青年團にありては本月七日選手の練習會を直江津農商學校の運動場でやることになつて居たが之れも災害に對し遠慮して秩序恢復する無期延期となす事にしたから左樣承知をねがひたい

緊急町村長會議

今回の大慘禍は東京市のみの問題でもなければ關東だけの問題でもない國家の中樞たる帝畿の破壞されたのであるから實に國家問題だと思ふ之れに對する救濟方法は如何にするかといふ事は何れ上司から命令もあるであろうし又事情も判明した上で熟議決定を要すると想ふが應急手段は一刻も忽緒に附することができないと思ふ、故に取敢へず來る六日午後一時を期し郡役所内に郡内の町村長會を開催し尚高田、直江津兩警察署長新井、柿崎兩分署長高田驛長高田郵便局長郡農會副會長商業組合部會副會長高田穀物檢査支所長郡在鄕軍人聯合分會正副會長郡青年會幹部の諸氏からも臨席を請ふて協議を行ひ應急方法を講ずる計畫であるが如斯場合には是非共擧郡一致の態度を以て臨まれんことを切望して歇まざる次第である』と尚郡長は赤倉におはします久邇宮御一家をいかにして御慰安申上ぐべきかといふことにつき深く心痛して居るので何れ六日の協議會に諮り郡代表者數名赤倉に派し御機嫌を奉伺する方針だそうである

大正12年9月5日

「高田日報」